

# NEWSLETTER

No120219

今年も最後の月に入りました。  
今年に入ってから VC(バリュチェーン)を利用すべく毎回レポートに掲げるようにアノリました。  
VC の数字に馴染んできたでしょうか。

今年「いくら稼げたか？」ではなく「ナンバーオペレーションの本質にどれだけ迫れたか？」と自分に問いかけてみましょう。

そこで今月は 2019 年の締めくりとして VC を通じてナンバーオペレーションの“本質の中の本質”  
(この意味は「隠れた真理の中にあるさらに隠れた真理」という意味です。ナンバーオペレーション  
は幾層ものベールに包まれています。まるでマトリョーシカ人形[ロシアのからくり人形]です。)

ナンバーオペレーションにおいて皆さんの多くはなおオペレーションの結果として生じる”profit-taking”(=「プロフィットテーキング」;「利食い」)や”loss-cutting”(=「ロスカッティング」;「損切り」)といった差額の概念に取り憑かれているかもしれません。あるいは、それらを意識してオペレーションを実行しているかもしれません。

「ナンバーオペレーションにそのような概念(“profit-taking”や”loss-cutting”)はない。」といったら信じられるでしょうか。

ナンバーオペレーションの実践者が片時も忘れてならないのは「すべては N になる。」という数学的原理です。「ナンバーオペレーションは“相場ではない。」と同じくこれまで幾度となく繰り返し述べてきたフレーズです。

VC に照らして「すべては N になる。」を噛み締めてみましょう。(「噛み締める」;物事の味わい、深い意味などを十分に感じ取る。)[今年「いくら稼げたか？」ではなく「ナンバーオペレーションの本質にどれだけ迫れたか？」と自分に問いかけてみましょう。』と述べた意味がわかるはずですよ。

下に掲げた VC のテーブルをご覧ください。

VC に「すべては N になる。」を当てはめてみましょう。

VC の数字を見ながら「すべてが N になったらどんだけ稼げるんだ!？」と想像してみてください。

ITV と OTV に分けて S 値の左側と右側の数字をご覧ください。それらの数字がすべて N、すなわち、0.00 になったらイメージしてみましょう。「すべては N になる。」

ナンバーオペレーションの最大の難関は 99% の要因がからみ合っていることだ。  
戻れないことだ。

→ 数値構造が収益を運んでくると、その本質を深く知ることが出来る。

⇒ マトリョシカ VC をじっくり観下す。

⇒ ナンバーオペレーションの本質だ。

→ 収益は“自然”がわかるもの  
の不安; “自然”は何か?  
↓